

第 13 回 IoL コロキウム ー特別講演ー

Internetwork of Lifemolecules Research Center Seminar

山口大学先進科学・イノベーション研究センター内に創設された生命分子インターネットワーク(IoL)センターでは、IoL コロキウムを開催しています。生命活動から分子に関する幅広い分野の第一人者の先生方に最先端の研究を講演していただき、本学の研究力のさらなる向上を目指しています。山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加のみならず、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上ご参加ください。入場無料です。また、本講演会は最先端生命化学特別演習および物質化学特別演習Ⅱの認定講演会です。

日時 2018 年 12 月 17 日 (月) 午後 4 時 00 分より

場所 山口大学工学部(常盤キャンパス) D棟 第 12 講義室

講師Ⅰ 岩崎 真之 先生

岡山大学異分野基礎科学研究所

「遷移金属元素の特性を活かした触媒的炭素－硫黄結合形成反応の開発」

有機硫黄化合物は、硫黄元素の特異な性質のため、有機化学において重要な位置を占めています。また、生物活性物質や機能性有機材料としての有用性のために様々な分野から注目を集めています。われわれは、効率的な有機硫黄化合物の合成法の確立を目指して、炭素－硫黄結合形成反応の開発に取り組んできました。本発表では、遷移金属元素の特性を活かした触媒的な硫黄化反応について、最近の研究成果を中心に紹介いたします。

講師Ⅱ 村上 慧 先生

名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所 (ITbM)

「芳香環官能基化によるマテリアル材料と生命分子の創出」

有機反応化学はこの 15 年で 3 つのノーベル賞が与えられているように、これまで学術界のみならず、産業界にも大きな影響を与えてきた。有機反応化学を今後さらに発展させ、これまで以上に有用なテクノロジーとしていくためには、学際的な視点が欠かせない。今回、異分野交流によって触発されながら、展開してきた我々のこれまでの研究について話す。内容としては、芳香環変換に関する化学、特に新しく発見した反応（芳香環コア構築とヘテロ官能基修飾）を中心として行なった一連の研究の進展を紹介する。具体的には一つ目のトピックでマテリアル材料を指向した新しい環化二量化反応の開発、二つ目のトピックでは芳香環の窒素官能基化と植物制御分子の開発について説明する。

問い合わせ先：創成科学研究科(工学系) 川本拓治 (9273)